

「パソコン」をすべて「PC」に置換

文末註

NBM 2009 年度 PC^{かんれんじぎょう}関連事業決算報告書ⁱⁱ

ルビ

2010 年 7 月 8 日

目次

業績などの概要	2
家庭向け部門	3
企業向け部門	3
その他事業報告	3

「改ページ」
「セクション区切り」

「目次作成」機能
「インデント」機能

「フッター」
「ページ」

業績などの概要

当社第96期(2009年4月31日まで)の営業成績につきまして、ご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、政府の経済対策の浸透に加え、民間設備投資の回復や企業の生産活動の一部に明るさがみられたものの、景気の低迷や為替の大幅な円高化、金融市場には、なお厳しい景気の状態が続きました。また、海外においては、米国経済が好調を持続する一方、欧州の景気も堅調に推移し、アジア諸国にも景気回復の動きが広がりました。

このような状況のなかで、当期のPCの販売台数については、お客様のニーズに対応した積極的な新商品の発売や全国販売店の懸命な販売努力により、国内は20,103,842,000円と、前期に比べて4%増加しました。個人向け、企業向けをあわせてPC売上が金額ベースで過去最高を記録したことによって2009年度の売上は¥20,103,842,000となりました。とりわけ

2009年第4四半期の売上は¥5,566,156,000で、冬ボーナスの買い替え需要によって順調な売上を記録いたしました。

企業向けをあわせてPC売上で過去最高を記録したことによって2009年度の売上は¥20,103,842,000となりました。とりわけ2001年第4四半期の売上は¥5,566,156,000で、冬ボーナスの買い替え需要によって順調な売上を記録いたしました。

今期後半の見通しにつきましては、わが国経済は、政府の情報通信基盤整備などの公共投資を中心にした緊急経済対策の効果が期待されますものの、今年度経済成長率がマイナスに転じるなど一段と景気が悪化しており、また低迷する株式市場や円高傾向の為替市場などが懸念され、先行きは依然として不透明要因も多く、予断を許さぬ状況が続くものと思われます。

		度	
個人向け	デスクトップ	¥2,071,950,000	¥2,078,755,000
	一体型	¥4,780,706,000	¥4,106,535,400
	大型ノート	¥2,922,226,000	¥2,036,497,400
	B5型ノート	¥2,320,500,000	¥1,844,817,000
	小計	¥12,555,382,000	¥10,066,604,800
企業向け	デスクトップ	¥3,373,100,000	¥3,535,800,000
	大型ノート	¥1,681,120,000	¥2,413,328,000
	B5型ノート	¥2,494,240,000	¥1,953,750,000
	小計	¥7,548,460,000	¥7,902,878,000
合計		¥20,103,842,000	¥17,969,482,800

家庭向け部門

個人向け部門では、作年度末より投入した大型ノート機が好調で前年度比 143%を記録するなど、全体で前年度比 125%となりました。前年度躍進した省スペース型の一体型マシンは今年も引き続き好調で当社 PC 全体の売上の 24%を占める主流商品となっております。



「図の挿入」
「折り返し」

企業向け部門

企業向け部門につきましては、市場の変化に対応するためより一層の小型化／高性能化を進めた新製品を開発し、新規市場の開拓に努めましたが、景気後退による設備投資先送りが影響し、売上総額は前年度の 95%にとどまりました。

その中で個人向けと同時に投入した新型 B5 サブノート機が好調で、この分野では前年度比 127%と順調な伸びを見せました。



その他事業報告

開発部門 富士支社

1. Super Note 10 周年記念 新機種発表。
(ア) 第一弾 軽量ノート PC
(イ) 第二弾 多機能デスクトップ PC
2. ワイヤレス技術を大幅に取り入れ。

「箇条書き」と「段落番号」

デザイン部門 東京本社

1. ニューヨーク近代美術館にて当社デザイン展開催中。
2. デザイナー/クリエイター（アルバイト）を随時募集中。

i パーソナルコンピュータ

ii 株主向け